



ふれあい

2022年7月
現在の会員数
男性 1,329名
女性 677名
合計 2,006名

2022年/7月
174号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/東京都府中市府中町1-30 ふれあい会館1F/TEL042-366-2322



第73回定時社員総会開催



自転車競技大会

●目次

- 令和4年度 第73回定時社員総会 2
- シルバーフェアの開催 3
- 運営調整会議 4
- 働く会員の職場訪問
(教育委員会関連文書等交換業務) 4
- 令和4年度会員表彰者 5
- 生涯現役!輝くシルバーさん 5
- 第6~9回 KSK写真コンテスト 6
- 自転車競技大会 7
- 第4次中期計画検討会 7
- 訃報・編集後記 7
- インボイス制度について 8

第73回定時社員総会

6月20日(月)午後1時から、「府中の森芸術劇場」ふるさとホールにおいて、第73回定時社員総会が開催されました。

今回は、昨年に引き続き、新型コロナウイルスウィルス感染防止対策として、会員の皆様には極力「委任状」又は「議決権行使書」の活用を、事前にお願いしました。

初めに、瀬谷会長から、当センターの活動、事業にご理解、ご支援を賜り御礼申上げる旨、感謝の意が述べられました。



「今回も昨年同様、コロナ感染予防のため、会員表彰や来賓の参列等のセレモニーを中止して、変則的な総会

の開催となりました。

新型コロナウイルス感染では、残念ながら当センターでも亡くなられた方があったほか、事業のキャンセルや縮小を強いられ、事業実績にも大きな影響が出ましたが、何とか回復に向かっています。

第3次中期計画の事業実績の令和4年度の目標額9億円については、達成できる見込みで、来月7月20日には『創立45周年』を迎える次第です。本年11月に開催予定の『45周年記念行事』には、府中市民の方にも参加いただく予定です。

今後の事業については、第4次中期計画策定検討会を発足させ、インボイス制度やSDGsなど、新しい問題への対応に取り組んでまいります。」と表明がありました。

総会の議事に先立ち、関根常務理事から「総会当日の会員数1,994名、出席者25名(委任状提出者1,561名、議決権行使書提出者9名)合計1,595名であり、全会員数の79.9%となり、全会員数の2分の1を超え、成立要件を満たした総会である」旨の報告があり、総会は有効に成立しました。

続いて、田中理事が議長に選任され、議事に移りました。



監事報告
監査の結果は、「法令及び定款に従い適正と認められる」旨が、橋本監事から報告されました。

報告事項
「令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業報告の件」
萩原理事から報告のとおり、了承されました。

決議事項
第1号議案「令和3年4月1日から令和4年3月31日までの計算書類等の承認の件」
佐藤理事から説明があり、採決の結果、承認されました。

第2号議案「監事1名選任の件」
瀬谷会長から提案理由の説明があり採決の結果、承認されました。

会員表彰
120月以上就業者の表彰は、今般の総会の状況を考慮して、表彰式と記念品贈呈を省略し、別途センター事務局において受賞者の方々にお渡しすることで、ご了解をお願いしました。

以上により、すべての議事が終了し、第73回定時社員総会は閉会となりました。



FSC45周年記念 「シルバーフェア」開催

第51回「府中市民桜まつり」に合わせて、4月2日(土)・3日(日)にシルバーフェアが、3年ぶりに開催されました。旧「ふれあい会館まつり」に比べ小規模な開催でしたが、4・5日前に満開になった桜は気温の低下で長持ちし、来場者を楽しませてくれました。

10時のオープン前に瀬谷周三会長の挨拶があり(ふれあい173号で既報)、田中英典実行委員長から開催にあたっての注意事項が伝えられました。

コロナ禍の中で、来場者のマスク着用、体温チェックなど、役員の方々が入念にチェックします。

ふれあい会館の玄関前では、正面左側は小物班の売り場となり、右側は総合受付を設け、ウクライナ人道危機救援金箱(日本赤十字社を經由)が置かれました。また、植木剪定相談コーナー、刃物研ぎのコーナーも設置されました。

このため、いつもの自転車置き場を西側に移動し、入り口のお客さんの流れを一方通行にして、対面にならないよう工夫しました。
ふれあい会館の1階では、正面入口

にシルバー入会相談会(総務委員)が設置され、10人程の方々が相談に訪れていました。

ミーティングルームでは、小学生の国語・算数・英語、中学生の数学・英語の相談、大人の英会話学習相談会が開催されました。

右奥のリフォーム作業室では、洋服リフォームの特別営業、相談室では「書道教室」作品展が開催されました。

刃物研ぎの「先着20名無料サービス」や、洋服の「ズボンの丈詰め半額券」の配布なども人気でした。毎回、人気の高い花苗の無料配布は、2日間の11時と14時に先着100名に無料配布されました。

今回はコロナ対策に配慮して、手渡しをやめ来場者が直接選ぶ形をとりました。ガーベラやベゴニア、マリーゴールド等々、色とりどりの花を家族連れや年配の方々が楽しそうに選んで行かれました。

コロナ対策に配慮し、工夫して執り行われたシルバーフェアは、2日目の午後は雨が強く残り残念ながら中止となりましたが、2日間通算で、1,200人以上の来場者がありました。



運営調整会議の報告をします

運営調整会議は、会長・副会長・常務理事に加え各委員会の委員長が出席して、偶数月に開催されています。目的は、センターの運営課題について検討し、運営の方向性を討議することです。

6月13日(月)に開催され、次の内容が討議されました。

- ① 今後の事業の進め方について
 - ア. 第4次中期計画の策定
 - イ. 商工まつりの対応
 - ウ. シルバー生き生きフェスタ
 - エ. その他
- ② 配分金・最低賃金への対応について
- ③ 理事会の議題について
- ④ 各委員会の課題について
- ⑤ その他

また、来年の令和5年10月から施行される「インボイス制度」と最低賃金の内容について、報告がありました。特に、「インボイス制度」については施行時期が迫っていることから、今後、会員の皆様に概要をきめ細かに周知していく必要があります。第1回目は本号でお知らせしています。さらに、センターの課題として各就業先のパワハラ対策や、SDGs(エスディージーズ)(持続可能な社会実現への取組み)への対応等があり、センターを挙げて就業先や会員間の絆の重要性が問われています。

SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは…



持続可能な開発目標 (SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(外務省「JAPAN SDGs Action Platform」より)

※全国シルバー人材センター事業協会「SDGsの取り組み」から

働く会員の職場訪問
教育委員会関連文書等交換業務

この業務の内容は、市立の幼稚園、小・中学校、教育センター、給食センターに、文書等を配送・運搬・回収する業務等です。

就業形態は、これまでの「請負」と異なり、東京しごと財団(連合本部)の派遣元との間に雇用関係が生じ、派遣事業所である当センターから派遣労働員を派遣する事業です。会員は、派遣先である府中市教育委員会教育総務課の担当職員から、日常業務の指示や就業時間等の管理を受け、業務に従事しています。

現在3名が従事していて、リーダーの望月さん、池上さん、植竹さんからお話を伺いました。勤務日は、水曜日を除く週4日で、勤務時間は8時から16時30分で、実働7時間45分です。

市内36の施設を府中街道で東西に分け、午前は東の19施設、午後は西の17施設に市有車を運転し、文書等の交換を行っています。

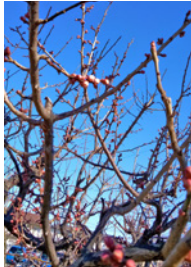
翌週は午前と午後が入れ替わり、1日の走行距離は約50kmです。出勤時には、教育総務課の棚



から配送文書等を施設ごとに仕分けし、専用の布袋に入れます。年度末には1施設2〜3kgになりますが、平均すると1施設1kgです。施設数が多いため、配送ルート、駐車場所、受渡場所を覚え、仕事に慣れるまで3か月位かかります。業務上、安全運転と、配送の正確性・迅速性が求められます。小学校低学年の下校時間帯に重なるときは、特に運転に気をつけます。これまで、事故等はありませんが、今後も安全運転に心がけ業務を遂行したい、と話されていました。

KSK(会員就業・交流事業検討会)
写真コンテスト入賞作品の発表

写真コンテスト第6回の入選作品



第1位：木谷曙子さん
『春はそこ』



第2位：池岡道範さん
『烏の行水』



第3位：田丸博巳さん
『晩秋』

写真コンテスト第7回の入選作品



第1位：徳田豊彦さん
『瓢箪池の寿町公園の桜が満開』

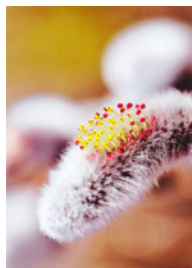


第2位：芝辻克己さん
『夜の竹林』

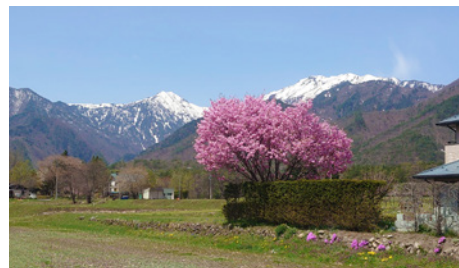


第3位：佐藤全弘さん
『地上100mの高所作業』

写真コンテスト第8回の入選作品



入選：剣持公三さん
『ねこじゃらし』



入選：瀬谷周三さん
『大町の春』

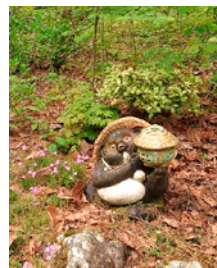


入選：田丸博巳さん
『春よこい』

写真コンテスト第9回の入選作品



入選：田中和美さん
『仲よし兄妹』



入選：瀬谷周三さん
『御庭番』



入選：田丸博巳さん
『絹の流れ』

小学生・高齢者 自転車競技大会

小学生・高齢者の自転車競技大会が、6月11日(土)に府中市第三小学校で開催されました。これまで、府中市の交通安全の一環として毎年行われていた行事ですが、3年ぶりの開催となりました。

まず、高野律雄市長の挨拶に始まり、小学生、高齢者に分かれて競技が進みます。1チーム6名の走行競技と、参加者6名の合議による学科テストによる総合点で競技が争われました。

今回は、小学生の部が11チーム、高齢者の部は8チームが参加しました。走行前に左右を目で確認することや、横断歩道、線路の渡り方など、自転車走行ルールに沿った走行技術を競いました。

当センターでは、安全委員会から1チーム(Aチーム)、自転車管理から1チーム(Bチーム)の計2チームが参加しました。競技ではS字カーブやポールを倒さないように走行する難所があります。そこで足が地面に着いたり、コースを外れたり、各チームの選手が苦戦していました。結果は自転車管理のBチームが、

見事第4位に入賞しました。

シルバーの会員は、普段から自転車を利用する機会が多く、自転車は、大変便利で手軽な乗り物ですが、一歩間違えると大きな事故に繋がります。被害者にも加害者にもなる可能性があります。ちょっとした不注意から一生後悔しないように、安全走行を心掛けたいと思います。



第4次中期計画策定検討会の発足と委員紹介

現在の第3次中期計画は、来年3月で終了します。このため、社会環境の変化に的確に対応する事業運営や経営基盤の強化策などを内容とする「第4次中期計画」について、5月末に検討会が発足し、12月までの活動が始まりました。

検討内容は中期的視点に立った事業運営の計画・目標、経営基盤強化の計画・目標などです。

検討会の委員は、理事として、佐藤佐俊、萩原信、成沢洋子、松井等各氏のほか、会員からは溝口猛、斎藤はるみ、清水光男、村野幸夫、大倉由紀子、見附美紀の各氏です。



検討会の委員として、各常任委員会と地域班長から委員を選出し、今年中を目途に計画を作成する予定としてあります。

計 報

- 羽山 幸男 (西原町)
 - 高見澤 公德 (西府町)
 - 中島 庄市 (北山町)
 - 舟久保 光子 (紅葉丘)
 - 西隈 邦彦 (美好町)
- 慎んでお悔やみ申しあげます

編集後記

新型コロナウイルスが流行してから、早くも3年を経過しました。ここ1〜2か月は、徐々に減少傾向にありましたが、再び新たな変異株の影響により感染者が急激に増え始めています。(7月中頃の原稿執筆時点)

また、ロシアによるウクライナ侵攻により生活への支障が日本だけでなく世界中に広がっています。1日でも早い終息を願うばかりです。

暗い世相が続く中、当センターの事業実績は徐々にではありますが、確実に向上に転じております。会員の皆さまにおかれましては、これまで以上に感染予防と熱中症対策を講じられ、無事にこの夏を乗り切ることが出来ますようお願い申し上げます。

(総務委員会 芝江)



大切なお知らせ

配分金には消費税が含まれています。

**「適格請求書等保存方式」
インボイス制度 配分金と消費税****配分金にかかる消費税の取り扱いについて****1 配分金には消費税が含まれています**

現在、会員の皆さんが受け取っている「配分金」には、その配分金に係る消費税が含まれています。つまり、シルバー人材センターからは、発注者からお預かりした消費税も含めて支払っているということになります。

2 本来、配分金に係る消費税は税務署に申告納税する必要があります

本来、会員の皆さんは個人事業主として、受け取った配分金に係る消費税は税務署に申告納税する必要がありますが、消費税法上、課税売上として受け取る金額が、年間1,000万円以下であるため、ほとんどの会員の皆さんは免税事業者として取り扱われ、申告納税する必要がありません。

3 インボイス制度の導入

令和5年10月より新たに「適格請求書等保存方式」（インボイス制度）の導入が予定されています。インボイス制度とは、消費税に関する制度のことで、センターが納める消費税や配分金の取扱いにも影響する可能性のある問題です。

4 シルバー人材センターの運営には大きな影響

この制度が始まると、センターは消費税免税事業者である会員さんとの取引について、これまで認められていた税額控除ができなくなり、新たな納税コストが発生してしまいます。シルバー人材センターは公益法人であり、収入が費用を上回ってはならない「収支相償」の原則もあることから、この新たなコストを負担することは、大変な困難を伴うことになります。

5 今後の対応…

現在、関係機関(府中市・全シ協・東京都シルバー人材センター連合)などが連携をはかり、今後の対応を協議・検討しています。しかし、会員の皆さんにとっても重要な事項ですので、その動向については、メール便、会報「ふれあい」等で、適宜、情報提供させていただきますのでよろしくお願いします。